

職 場 訪 問

経験を授業ににじませたい

プロの美容師を育てる

安孫子睦子^{ちかこ}さん (旧姓 高山 S53年卒)

山形V.カレッジ ビューティビジネス科



「ようい はじめ!!」という快活な掛け声で生徒たちの手は俊敏に闊達にピンカールを仕上げていきます。そして個々人に例を示しながらアドバイスをしていく先生。その方が今回紹介する安孫子睦子^{ちかこ}さんです。

私達が訪ねた時はちょうど二月に行われる国家試験にむけての実技の授業中でした。

安孫子さんは、小学生の頃から日本髪的美しさにあこがれ美容師になりたいと思うようになったそうです。九里学園卒業後、山形美容専門学校で学び「ヨシオ美容室」で長年修業され、その経験と実力を買われてV・カレッジのビューティビジネス科の先生になりました。

美容室での修業時代は指先を切ってしまうことも度々あったということです。そのきびしい徒弟制のなかで培われたものは、自分の手で美を作り出す喜びと、お客様との会話から明日への元気をもらうことだったそうです。

折々にその経験を授業のなかになじませながら伝えていきたいということでした。

この仕事で一番嬉しいことは、巣立っていった生徒が悩みなながらも、プロとして頑張っている姿を見ることがそうです。

逆にせっかくながら志を持って入学してきたのに中退してしまう生徒もいて、その時は自分の非力さに打ちのめされるそうです。

生徒の半分は男子で、その中に九里卒業の三人もプロをめざして頑張っていました。

小柄で半円形の瞳が印象的な安孫子睦子さんは、今、プロの美容師を育てる職場で輝いています。(S五十二年卒 高橋 有子 記)

ザンビアの子どもたちと生き生きと

実行委員長 新井 千香代 (S59年卒)

総会報告

6月26日

今年度の同窓会総会は「八と九」のつく卒業学年の当番となりました。会場は例年同様東京第一ホテルでした。研修会では本校教諭の鈴木精先生より、海外青年協力隊で行かれたザンビアでの活動の内容、現地の子供たちの様子や生活のお話をお聞きしました。その後の親睦会では、卒業間もない同窓生が沢山集まり、久しぶりの再会に盛り上がっていました。また、卒業以来二十数年振りに集まったクラスもあり、担任の先生を囲んで賑やかなおしゃべりが続きました。アトラクションでは卒業生と現役生によるダンス部の発表と、プロの尺八奏者として活動を始めた卒業生萱森一平君の演奏や、先輩後輩、そして先生方全員参加で三人ひと組で行われたトイレットペーパーの引き合いは、真剣な眼差しで短いペーパーを引き合う姿に、会場は爆笑に包まれました。

今回は、少しでも多くの方々において頂けるようになるべく出費を抑え会費を下げてみました。料理の質等満足のいくものになっていたか不安はありましたが、ご参会の皆様のおかげを持ちまして楽しいひと時が過ごせました。今後はもっともっと若い世代の方々にお集まり頂けるよう、同窓会ホームページを利用して周知の徹底を図って募集していきたいと考えます。



尺八を演奏する萱森君 (H20年卒)